

活動日（門松の撤去など）



令和5年1月8日（日）会員19名が参加。軽トラック2台と乗用車で出掛け二川宿本陣と資料館、地区市民館に飾っていた大門松と江戸時代の門松を撤去した。後半は原木採取の為に11月から倒したまま

まになっているコナラの一部の枝葉を払い、その場でチップーにかけてチップにした。このコナラは2月の菌打ちイベントで使われる。【写真：本陣で江戸時代の門松を撤去する】

活動日（コナラ枝払い、チップ、原木採取）



令和5年1月15日（日）会員19名が参加。チェーンソーとチップーのグループに分けて作業した。チェーンソーで枝葉を払い、残った幹から規定長さの原木を採

る。払った枝葉は枝の付け根で切られているため、長いままの状態でもチップーに掛ける。コナラが半枯れ状態でチップーが新しいこともあり作業が順調に進んだ。【写真：葉枯らし状態のコナラから枝葉を払う】

活動日（コナラの切り株調整など）



令和5年1月22日（日）会員など18名が参加。伐採したコナラ30本の今後の萌芽や成長の違いを観察するため、東側15本を切り株高さ10cm、西側15本を20cmにした。残ったコナラの余分な枝

を手鋸で届く範囲で切り、伐った枝はその場でチップにして林床に撒いた。特別作業の看板やバリケードなどを撤去し元通りのコナラの森になった。【写真：高さ調整されたコナラの切り株】

活動日（竹林の整備など）



令和5年1月29日（日）、会員16名が参加。折れたり、傷ついたり、混んでいたりして間伐の対象となる竹にピンクのビニールテープを巻いて目印にした。作業は竹林の西側から順に印の

付いた竹を伐る。作業は3人1組になり竹切り用の手鋸で切る。稈は一定長さに切り、枝を払い、稈と枝葉はそれぞれ決めた場所に集めた。【写真：間伐する竹にテープで印付けする】

活動日（協働中止、菌打ち勉強会）



令和5年2月19日（日）、会員19名が参加。㈱アーレスティとの協働は雨予報のため中止。予定の竹林での作業は止め集まった会員で菌打ちの勉強会をした。会長が講師で前半は座学。シイタケ栽培

例の紹介、菌打ち会配布資料の説明、仮伏せ方法など。後半はデッキで菌打ち実技練習。原木に印付け、穴あけ、駒菌打ちをした。

【写真：休憩所での菌打ち勉強会の様子】

「しいたけの菌打ち体験」準備



令和5年2月25日（土）会員17名が参加。明日の菌打ち体験の準備を行った。この日の作業は原木を西川さん倉庫から休憩所に運び、穴あけ個所に印を打つこと。75本の原木に定規

で寸法を測りチョークとマーカーで印を打つ。出来たものは休憩所の納戸で保管する。寒冷紗を所定の大きさに裁断。原木抽選木札の番号打ちも行った。【写真：納戸で保管される原木】

活動日（森でシイ、ヒメユズリハの除伐）



令和5年3月12日（日）、会員18名が参加。「四季ときめきの森」の上の管理道路に近づくほど手が入られていないため密林状態。シイの場合、切り株から出た木が5~6本纏まって生え、それが

太さ5~8cmくらいに成長して過密状態。これらを伐り除くのは一苦労。またユズリハも背丈が3~4mになっているのもあった。【写真：手鋸でシイとヒメユズリハの除伐をする】

活動日（㈱アーレスティと協働）



令和5年3月19日（日）、会員18名、団体会員8名、会員家族（子供）4名が参加。男性は「四季ときめきの森」でシイやヒメユズリハの除伐と草刈り。女性と子供はシイタケ栽培地で発生

しているシイタケにビニール袋をかぶせる。ほど良い大きさの物は採取し、袋に小分けして団体会員さんに持ち帰って貰う。

【写真：シイタケの採取をする子供たち】